




基本目標 1

暮らしを支える 仕組みをつくらう！ (P.5-6)

活動目標	平成27年度に進んだこと	一緒に進めた人・組織
<p>1.気軽に相談できる体制づくり</p>	<p>▶「福祉活動員制度」紹介動画の制作</p> <p>☞県内市町村社協と協働制作を行っていた「福祉委員（福祉活動員）」PR冊子と動画が完成。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●住民に身近な相談役としてのPRに活用予定 	<p>福祉団体 社協</p> 
<p>2.住民同士での声かけや見守りの推進</p> 	<p>▶「民生委員」・「福祉活動員」と「介護支援専門員」の連携強化</p> <p>☞「意見交換会」と「グラウンドゴルフ交流会」を開催。福祉活動者と専門職の関係づくりが進む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●要介護者の在宅生活の協働支援に向けた情報共有化 	<p>福祉団体 社協 行政</p>
<p>3.助け合いの仕組みづくり</p> 	<p>▶片田地区内への「福祉を語る場」の設置検討</p> <p>☞片田自治会内に『福祉部会』設置協議が進む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●モデル地区福祉活動検討会・実施回数29回/3年 ●組合内の親睦活動と近所同士のゴミ出し支援開始 <p>▶生活支援活動（ゴミ出し）の試行</p> <p>☞社協・介護支援専門員（ケアマネジャー）担当の利用者の内、必要な方へシルバー人材センターと協力しゴミ出し支援が試行的に開始される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●利用者4名 ●実施回数166回 	<p>地区住民 社協</p> <p>地区住民 福祉事業所 般事業所 社協</p>

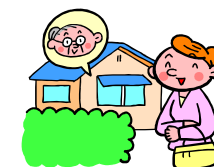
● '福祉活動員制度' とは？

☞ 『福祉活動員』は、早島町内29地区の各自治会・町内会長から推薦され、現在合計で約80名の方が活躍されています。

☞ 早島町社会福祉協議会の会長が委嘱する純然たる ‘福祉ボランティア’ です。

☞ 20～60世帯に1人配置され、一人暮らしの方や高齢者世帯等、気にかかる方の安否確認や話し相手、福祉情報の提供等の 見守り活動 を行う。

● 具体的な役割



- (1) 地区内の住民の生活実態や福祉課題の把握 (アンテナ役)
- (2) 異変時の専門機関への連絡や連携活動 (橋渡し・調整役)
- (3) 福祉知識や技能向上のための研修会等への参加
- (4) 地区内の自主的な福祉活動の実施 (活動の推進役)
- (5) 社協が行う住民主体活動への協力

❖福祉活動員紹介動画・パンフレットの作成



☞岡山県内の他の市町村社協と協働制作を行っていた「福祉委員（福祉活動員）」PR冊子と動画が完成。




●住民に身近な相談役としてのPRに活用予定



※早島町社会福祉協議会では、従来より活動の手引きを作成し、福祉活動員の皆さんと活動のあり方を共有しています。

基本目標 1

暮らしを支える 仕組みをつくろう！ (P.5-6)




活動目標	平成27年度に進んだこと	一緒に進めた人・組織
<p>1.気軽に相談できる体制づくり</p>	<p>▶「福祉活動員制度」紹介動画の制作</p> <p>☞県内市町村社協と協働制作を行っていた「福祉委員（福祉活動員）」PR冊子と動画が完成。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●住民に身近な相談役としてのPRに活用予定 	<p>福祉団体 社協</p> 
<p>2.住民同士での声かけや見守りの推進</p> 	<p>▶「民生委員」・「福祉活動員」と「介護支援専門員」の連携強化</p> <p>☞「意見交換会」と「グラウンドゴルフ交流会」を開催。福祉活動者と専門職の関係づくりが進む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●要介護者の在宅生活の協働支援に向けた情報共有化 	<p>福祉団体 社協 行政</p>
<p>3.助け合いの仕組みづくり</p> 	<p>▶片田地区内への「福祉を語る場」の設置検討</p> <p>☞片田自治会内に『福祉部会』設置協議が進む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●モデル地区福祉活動検討会・実施回数29回/3年 ●組合内の親睦活動と近所同士のゴミ出し支援開始 <p>▶生活支援活動（ゴミ出し）の試行</p> <p>☞社協・介護支援専門員（ケアマネジャー）担当の利用者の内、必要な方へシルバー人材センターと協力しゴミ出し支援が試行的に開始される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●利用者4名 ●実施回数166回 	<p>地区住民 社協</p> <p>地区住民 福祉事業所 設事業所 社協</p>

❖福祉活動者（民生委員・福祉活動員）と 介護支援専門員の意見交換会・交流会の様子



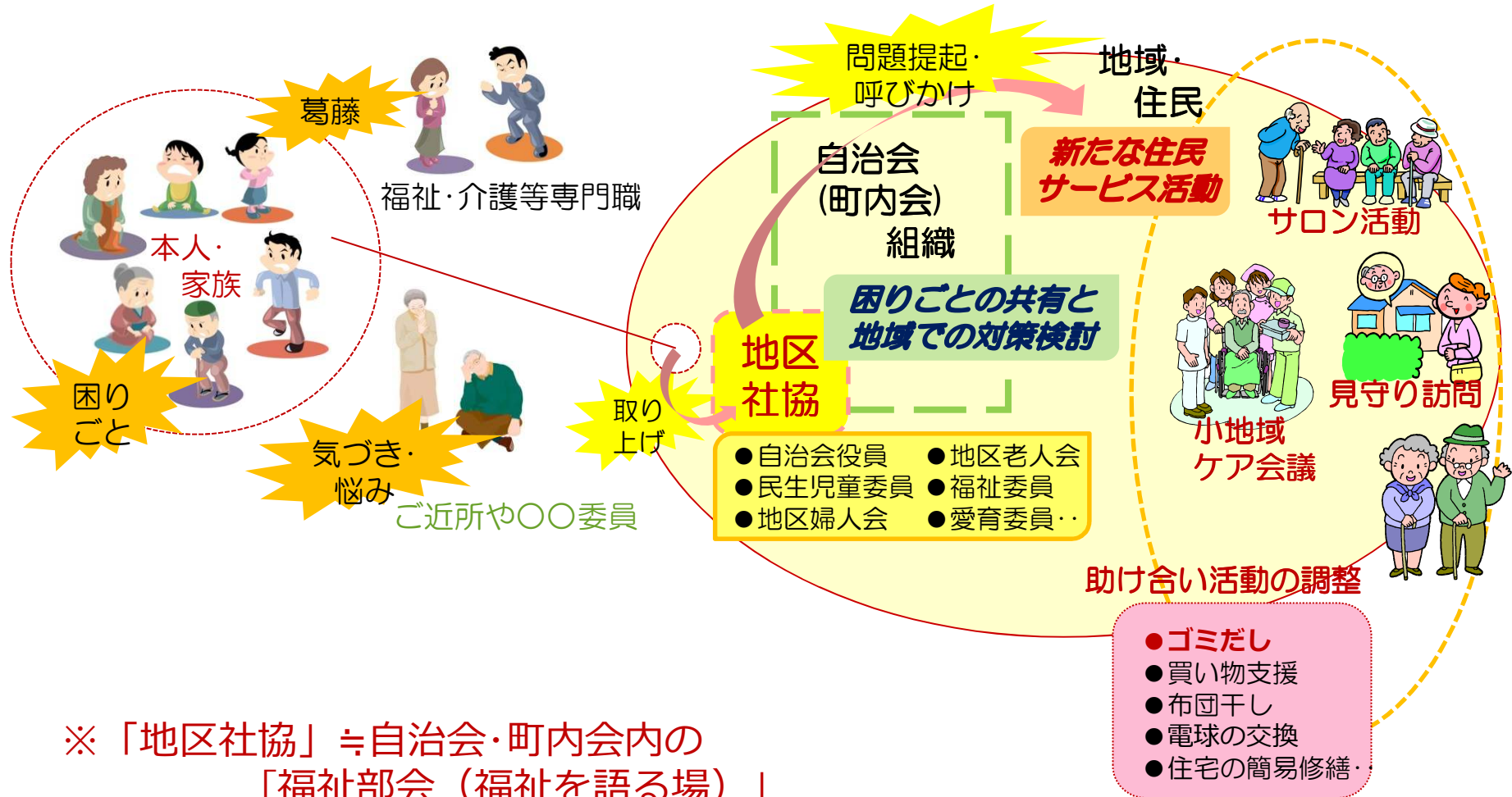
基本目標 1

暮らしを支える 仕組みをつくらう！ (P.5-6)

活動目標	平成27年度に進んだこと	一緒に進めた人・組織
<p>1.気軽に相談できる体制づくり</p>	<p>▶「福祉活動員制度」紹介動画の制作</p> <p>☞県内市町村社協と協働制作を行っていた「福祉委員（福祉活動員）」PR冊子と動画が完成。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●住民に身近な相談役としてのPRに活用予定 	<p>福祉団体 社協</p> 
<p>2.住民同士での声かけや見守りの推進</p> 	<p>▶「民生委員」・「福祉活動員」と「介護支援専門員」の連携強化</p> <p>☞「意見交換会」と「グラウンドゴルフ交流会」を開催。福祉活動者と専門職の関係づくりが進む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●要介護者の在宅生活の協働支援に向けた情報共有化 	<p>福祉団体 社協 行政</p>
<p>3.助け合いの仕組みづくり</p> 	<p>▶片田地区内への「福祉を語る場」の設置検討</p> <p>☞片田自治会内に『福祉部会』設置協議が進む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●モデル地区福祉活動検討会・実施回数29回/3年 ●組合内の親睦活動と近所同士のゴミ出し支援開始 <p>▶生活支援活動（ゴミ出し）の試行</p> <p>☞社協・介護支援専門員（ケアマネジャー）担当の利用者の内、必要な方へシルバー人材センターと協力しゴミ出し支援が試行的に開始される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●利用者4名 ●実施回数166回 	<p>地区住民 社協</p> <p>地区住民 福祉事業所 般事業所 社協</p>

❖ 『地区社協（福祉部会）』 活動の立上げ支援

【ほっとプラン概要版 P.6】



※ 「地区社協」 ≡ 自治会・町内会内の「福祉部会（福祉を語る場）」

❖片田地区福祉活動検討会の様子



- ☞ 片田自治会内に『福祉部会』設置協議が進む。
- モデル地区福祉活動検討会・実施回数29回/3年
- 組合内の親睦活動と近所同士のゴミ出し支援開始

❖片田地区 夏休み子どもサロン活動



地区内外の方の力を合わせて

<プログラム>

- 6:30 ~ ラジオ体操
- 7:00 ~ 朝食
- 7:30 ~ 学習支援
- 9:00 ~ 昔遊び指導
- 10:30 散会






地区の高齢者も障がいがある方も主役



❖地区内の「高齢者」や「障がいがある方」等が身近な地域へ参加や時として主役になれる場面設定が必要。

基本目標 1

暮らしを支える 仕組みをつくらう！ (P.5-6)

活動目標	平成27年度に進んだこと	一緒に進めた人・組織
<p>1.気軽に相談できる体制づくり</p>	<p>▶「福祉活動員制度」紹介動画の制作</p> <p>☞県内市町村社協と協働制作を行っていた「福祉委員（福祉活動員）」PR冊子と動画が完成。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●住民に身近な相談役としてのPRに活用予定 	<p>福祉団体 社協</p> 
<p>2.住民同士での声かけや見守りの推進</p> 	<p>▶「民生委員」・「福祉活動員」と「介護支援専門員」の連携強化</p> <p>☞「意見交換会」と「グラウンドゴルフ交流会」を開催。福祉活動者と専門職の関係づくりが進む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●要介護者の在宅生活の協働支援に向けた情報共有化 	<p>福祉団体 社協 行政</p>
<p>3.助け合いの仕組みづくり</p> 	<p>▶片田地区内への「福祉を語る場」の設置検討</p> <p>☞片田自治会内に『福祉部会』設置協議が進む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●モデル地区福祉活動検討会・実施回数29回/3年 ●組合内の親睦活動と近所同士のゴミ出し支援開始 <p>▶生活支援活動（ゴミ出し）の試行</p> <p>☞社協・介護支援専門員（ケアマネジャー）担当の利用者の内、必要な方へシルバー人材センターと協力しゴミ出し支援が試行的に開始される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●利用者4名 ●実施回数166回 	<p>地区住民 社協</p> <p>地区住民 福祉事業所 般事業所 社協</p>

❖住民参加の『生活支援サービス』のイメージ 【ほっとプラン概要版P.12】

●生活支援サービスの内容（例）

- ◇話し相手
- ◇住宅の軽微な修理
- ◇移動の援助や付き添い
- ◇簡単な掃除
- ◇ゴミ出し
- ◇買い物
- ◇家具や荷物の移動

●生活支援サービスの担い手（例）

- 一般町民（有償ボランティア）
- シルバー人材センター会員
- その他の各種団体会員

サービスの提供依頼



●生活支援の相談受付・調整・担い手の養成・サービス立案 （早島町社会福祉協議会）

地区住民やボランティアによる助け合い

●専門相談機関

- 地域包括支援センター
 - 高齢・児童・障がい福祉分野の相談機関
- 公的な医療・介護・福祉サービス

サービス提供（有償）



●困りごとの発見

- 民生委員
 - 福祉活動員
 - ご近所
 - ケアマネジャー（介護支援専門員）
 - ホームヘルパー（訪問介護員）
 - ケースワーカー
- （高齢・児童・障がい分野の相談職）

生活支援の相談やサービス申込

公的なサービスの相談・申込



本人・家族

困りごと



	外出支援	ゴミ出し支援
試行開始	平成27年3月～	平成27年4月～
試行利用者	24名	4名
試行回数	91回	166回
担い手	7名	2名
利用料	試行期間中は無料 ※福祉有償運送登録予定	100円/回 ※担い手が同区内の場合は無償



※試行利用者は、現在、社会福祉協議会のケアマネジャー又はホームヘルパーが担当するご利用者の方に限定して実施。実績は、平成28年3月末現在。

● ゴミ出し支援試行活動の調整の流れ



ゴミ出しを
お願いしたい

本会及び地域包括支援センターの
介護支援専門員（ケアマネジャー）



早島町社会福祉協議会事務局



<地区の助け合い(無償)>

地区の方
(自治会・町内会)

- 片田福祉活動検討会
- 若宮福祉部会

※他地区は、民生委員や
福祉活動員OBさん等
本会と関係がある方



<町域の助け合い(有償)>

町シルバー
人材センター

- ゴミ出し担当会員

